

時延引外し特性

配線用遮断器や漏電遮断器(OC付)に過電流が流れますと、過電流引外し装置が過電流である事を検出し過電流の大きさに応じて、決められた時延をもって回路を自動遮断します。

時延引外し特性はJIS(日本工業規格)、電気用品の技術上の基準を定める省令等に定められており表の通りです。

この時延引外し特性をそなえる過電流引外し装置には種々のものがあり、それぞれ特徴をそなえております。テンパール配線用遮断器・漏電遮断器も、用途・容量に応じそれぞれ最適の方式を採用しています。

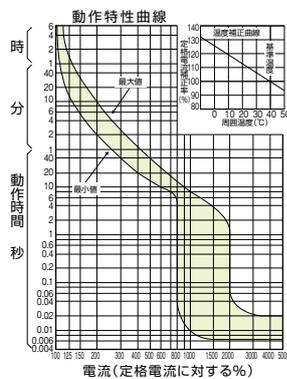
(引外し方式については「引外し方式」
(C-32ページの項を参照してください。)

漏電遮断器の定格電流は周囲温度40℃(一部25℃設定もあります。)を基準に設定されていますが、配電盤等に使用される場合、盤内の温度上昇を考慮のうえ、定格電流を選定してください。→周囲温度補正曲線参照

適合規格	遮断器の定格電流(A)	動作時間(分)	
		定格電流の125%の電流	定格電流の200%の電流
電気用品安全法	30以下	60以内	2以内
	30を超え 50以下	60以内	4以内
	50を超え 100以下	120以内	6以内
JIS C 8211 Ann2、JIS C 8222 Ann2	100を超え 150以下	120以内	8以内
JIS C 8201-2-1 Ann2 JIS C 8201-2-2 Ann2	150を超え 225以下	120以内	8以内
	225を超え 400以下	120以内	10以内
	400を超え 600以下	120以内	12以内
	600を超え 800以下	120以内	14以内
	800を超え 1000以下	120以内	16以内
	1000を超え 1200以下	120以内	18以内
	1200を超え 1600以下	120以内	20以内
	1600を超え 2000以下	120以内	22以内
	2000を超えるもの	120以内	24以内

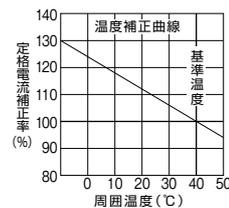
動作特性曲線

動作特性曲線は過電流の大きさと、動作時間の関係を示したものです。特性曲線に幅があるのは、動作時間がその範囲内にあることを表します。

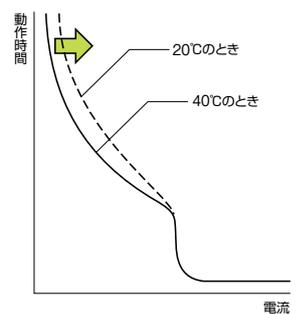


周囲温度補正曲線

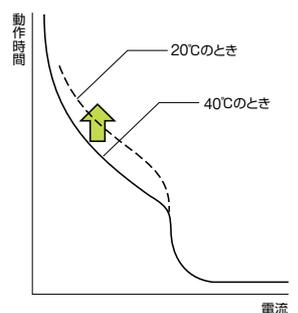
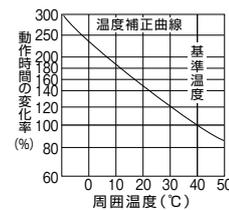
■熱動式・熱動電磁式の場合
基準周囲温度以外で使用される場合動作電流が変化します。温度補正曲線により定格電流の補正を行ってください。



(注)遮断器の標準使用条件はC-44を参照



■完全電磁式の場合
基準周囲温度以外で使用される場合動作時間が変化します。温度補正曲線により補正してください。



C

内部付属装置

外部付属装置

電動機分岐回路用

時延形

適合圧着端子

接続方式

同梱部品

締付トルク

資料